

一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 令和5年度事業報告 (委員会単位)

(グローバルビジネス委員会関係事業)-令和6年3月末

事業	事業項目	内 容	担当	備 考														
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
グローバル ビジネス 発展・普及 事業	交流事業 (IV-1-(1)-ab)	・渡航前 台湾商習慣、市場分析セミナー等(4月の委員会で大筋方針策定) 台湾(業界団体訪問(CISA.TCA)・地元企業訪問(団体を通して)・大学の宮城県への招聘、歓迎イベントの開催 ・人材採用 ・双方向ビジネスの模索	グローバル ビジネス 委員会			内容精査 準備 広報募集												・当初2月予定のICTカンファレンスが急ぎと登壇者の事情により前倒しになった事、およびCISA側の日程の再調整が付かず、2024年2月の仙台市長の市の友好都市台南市への訪問と随行する案が出ていたが、仙台市の事情により仙台市との連携と台湾交流は2024年7月に延期となった。 ・仙台市の関係者からは、「頼清徳新総統(24年1月13日選任)が、元台南市長の際に仙台市と深い交流があったことから、24年7月に訪台事業がMISAとして整うのであれば、CISAから業界団体との交流だけでなく、中央政府である台湾政府、台南市などとの包括的連携も全面的に協力するとの旨回答されているが、MISA内部理事会、総会なども含めた意思決定に柔軟に従い、実施継続/見送りを行いたい。 ・カウンターパートの仙台市柳津経済局長が急遽異動になり、引継と後任紹介と次年度計画の意見交換を実施(3/21)、JICA国際協力と補助金活用意見交換(3/7)、JISA第三回国際委員会出席(3/26)。
	ICT CONFERENCE (I-1-(1)-a)	当協会に対し会員・外部からの理解促進を図るため、コミュニケーションツールとしてのイベントを開催する。								内容精査								・河北新報社との共催でプレスリリースセミナーを実施することになり、登壇者の事情により当初2月開催のところを11月の前倒し開催となった。短期間の広報および集客ではあったが、50名近くの聴講者に恵まれ盛会であった。(MISAからは穴沢前事務局長、中嶋・柴崎・田代理事らが参加) ・今後の実施計画と体制については、よりよい実施体制と計画を期待する声も多数寄せられ、今後当委員会の内部でも反省点と良かった点を踏まえ、更に良いものとしていきたい
	留学生授業参観 & 意見交流会 (I-1-(1)-a)	東北電子専門学校等、留学生のいる学校の留学生向けの情報システム科の授業参観とその生徒との意見交流会の開催をする。								内容精査								

(注1)事業項目欄の○内は事業計画書の項目Noを示す。

(広報委員会関係事業)-令和6年3月末

事業	事業項目	内 容	担当	備 考															
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
広 報 事 業	情報誌の発行 (IV-4-(1))	当協会内部及び外部へ、当協会の理解を深めてもらうため、各種広報誌を作成し、会員、関係機関・団体、一般公共施設等に加え大学、高専、専門学校、高校などにも配布する。また、MISAホームページ、MISA Facebook及びメディアへの継続的な情報を提供し、協会のプレゼンス向上に努めると共に会員企業への公平・公正な情報発信をおこなう。 MISA情報誌：年2回発行 発行部数は1回当たり600部とする。 第53号を4月、第54号を10月に発行する。 ・協会情報誌発行：6月	広報 委員会															・MISA情報誌 経営委員会アンケート結果、表紙用MISAフォトコンテスト実施、 ITあるある川柳！募集掲載、MISA会員企業NEW技術情報掲載、会員企業インタビュー ・協会情報誌発行	
	MISAホームページ&MISA SNSによる情報発信 (I-4-(2))	・MISA関連イベントをホームページとFacebookを活用しMISA内外にタイムリーに情報を発信することでMISAのプレゼンス向上を図る。 対外的な情報発信に加えMISA会員に対し親しみやすく且つ有益な情報も提供する。																	・MISAホームページ 「各委員会ページ」の更新状況確認、外部からのアクセス分析及びアクセス数向上施策検討及び実施 ・MISA SNS グローバルな「いいね」獲得数向上、Facebook活用、及び外部からのアクセス分析及びアクセス数向上施策検討及び実施、東北の「いいね」情報発信、IT業界の「いいね」情報発信 ・情報発信方法の見直し
	MISA公式SNS開設による知名度向上 (I-4-(3))	・最新のSNS利用率等より、新規ターゲット層が多く利用するSNSを調査し、新たなMISA公式SNSを開設、情報発信することで、知名度向上、新規会員、人材確保に貢献する。																	・進捗状況 広報委員会主催セミナー実施のため、来年度開設に変更。
	MISA独自のICT企業データベース開設検討・準備 (I-4-(4))	・宮城県が新たに立ち上げる企業紹介サイトを確認し、ニーズや棲み分けを判断のうえ、必要に応じてMISA独自の企業データベース立ち上げを検討・準備する。																	・状況 宮城県が新たに立ち上げた企業データベース「OPEN INNOVATION みやぎ」と重複するためMISA独自の企業データベース開設は中止とする。ただし「OPEN INNOVATION みやぎ」の浸透状況次第で再度検討する。
	PR動画による認知度向上 (I-4-(5))	・MISAのPR動画を制作し、認知度向上を図る。ターゲットを対外向けと人材確保用の2種類制作を目指し、今年度は対外向けPR動画の完成を目指す。																	・進捗状況 広報委員会主催セミナー実施のため、来年度開設に変更。
	MISA会員企業及びメディアへの情報発信 (ニュースリリース) (I-4-(6))	・MISA会員企業への公平・公正な情報発信をおこなう。 ・MISAの特徴的な行事を取り上げ新聞等のメディアに情報提供するとともに集客に努める。																	・MISA会員への情報発信 情報発信方法の改善策検討 ・プレスリリース 報道機関向けプレスリリースの検討及び活用(MISAホームページ掲載等) →河北新報社と連携し「プレスリリースセミナー」を開催した。 ・各省庁からの有益な情報(MISA会員にメリットの有る)を発信する。

(注1)事業項目欄の○内は事業計画書の項目Noを示す。